



北京大学歴史学系

妹尾 愛美
文教育学部人文科学科
比較歴史学コース

北京大学への留学を決めたきっかけは高校時代の中国史への関心でした。そこから中国語を勉強したい、中国文化を知りたいと発展していき、お茶の水女子大学のオープンスクールで北京大学と交換留学の提携をしていることを知り、その留学を目指してお茶の水女子大学を受験、合格しました。つまり私がお茶の水に来た目的の一つが留学なのです。私はもともと、言語文化学科において中国文化圏コースを目指していたのですが、途中で強い関心がある人文学科の比較歴史コースに転科しました。だから中文生ではないのに中国語系の授業を熱心にとる私は少し浮いていました。中国に対する興味関心を失ったわけではなく、比較歴史の生徒であるほうが北京大学留学に有利だと聞いて思い切って転科しました。そのごたごたもあって留学は3年生の後期からになりました。



留学前の準備は情報が全然足りていなかったためかなり難航しました。私は北京大学ホームページ(中文・英文のみ)を参考にして準備を進めていきましたがもし皆さんが北京大学に留学しようと思う場合は北京大学の担当の先生に聞くのが一番安全だと思います。ただしその場合、先方とは英語もしくは中国語でのメールのやり取りを行わなくてはならないので留学以前から高い語学力が必要になります。または、北京大学日本人留学生会と前もってコンタクトを取っておくといいかもしれません。

留学の準備では書類の準備など時間がかかることが多いので余裕を持って早めの準備を心掛けたほうが安全です。英文の在学証明書などは2週間かかったりしますし、予防接種は1か月空けて3回打たないといけない場合もあります。

留学初めごろは現地の人間との会話がほとんどできていませんでした。しかし中国の人たちの中にも、中国語がうまくできなくても熱心に対応してくれる人もいます。心が折れそうになることもありましたが慣れればどうということはありません。心が折れないよう留学生仲間を作るのも大切だと思います。北京大学には日本人留学生はたくさんいるのでその点では安心です。1年間の留学を終えて得たものは中国語のスキル、異文化への耐性、積極性など様々です。軽い気持ちで留学を行うのはあまり推奨されることではないとは思いますが、あまり気を張りすぎるのはよくないです。大切なのは最後までやり遂げるのだと思います。

